



おおみや トピックス



市HP内掲載記事へ

年齢	R3.2末(前月比)
0歳~14歳	1,308人 (-3)
15歳~64歳	5,777人 (+20)
65歳~	3,034人 (-14)
合計	10,119人 (+3)

大宮町の人口

大宮町加工グループのさらなる活躍を

大宮町では、女性活動グループのさらなる活躍を支援するため、平成30年度より様々な事業を実施しています。令和元年度からは、女性活動グループに限らず食品加工グループに範囲を広げ、視察研修や交流会などを開催してきました。食品加工グループは、それぞれに朝市の開催や地域イベントへの出店など、多種多

様な活動をされています。しかし、活動周知という点に課題を抱えているグループもあり、今回PR強化を図るため、「※京丹後市大宮町地域会議設立準備会」の事業の一環として、グループTシャツを作成しました。表面にはロゴマークを、背中には同準備会の川口勝彦会長がデザインされた「がりゃーええで」という

一言がプリントされています。Tシャツのデザインは下記のとおりです。地域などでグループの活動を見かけられた場合は、活動へのご理解と、ご協力を、よろしくお願いたします。



「がりゃーええで」バックプリント



※京丹後市大宮町地域会議設立準備会とは
大宮町区長協議会と、地域の農地を中心とした生活環境を守る組織を統合せ、持続可能な地域づくりを行う組織を作るための組織のこと。



作業中の様子(上)
／回収されたゴミの一部(下)

※大宮町広域協定運営委員会とは、大宮町内各集落が連携し農地保全を行うことを目的とした組織のこと

3月7日(日)、市道奥大野善王寺線にて3区合同のクリーン作戦が行われました。この道路は奥大野区、口大野区、善王寺区にまたがっており、左右には国営農地が広がる見通しの良い道ですが、周りに民家がないため、以前よりゴミのポイ捨てが散見されていました。今回の取り組みは、※大宮町広域協定運営委員会の働きかけにより毎年この時期にクリーン作戦を行っている奥大野区に合わせ、口大野区、善王寺区も合同で行われたもので、約75名の方が参加され、沿道のごみを拾いました。参加された方は「この道を通るドライバーや同乗者にはモラルのある行動をとってほしい」と話していました。

口大野・奥大野・善王寺 春の合同クリーン作戦



開花の様子(上)
／地域を彩っています(下)

『おおみやトピックス第22号』でご紹介した、奥大野のサクラソウが開花し、区内などの沿道に配置され、地域を鮮やかに彩っています。まだまだ寒い日々が続きますが、皆さんも近くの「春」を探してみてください。

地域に彩りを サクラソウを配置

2月10日(水)、河辺区と周枳区合同による『青色防犯パトロールの出発式』が、河辺区民センター駐車場にて実施されました。式典には、9台の青色回転灯装備車(通称 青パト)と各区内で構成される青パト隊の皆さんや、京丹後警察署の方々が出席され、閉会後にはそれぞれの区内をパトロールしました。



河辺・周枳 合同青パト出発式

大宮地域を活性化する会 生放送出演!

3月3日(水)、小町公園「町の舎」を会場に開催されていた『第4回ひな人形展(以下 人形展)』が、テレビ番組「news フェイス」(KBS京都)にて、約5分間の生中継で放送され、主催者の「大宮地域を活性化する会」から代表の田上秀明さんと糸井照雄さんが取材に応じました。番組内では、KBS京都アナウンサー澤武博之さんが田上さんと糸井さんにインタビューし、人形展開催に至る経緯や見どころなどを紹介する様子が放送されました。

今回の人形展は、2月7日から3月8日まで開催され、1897名が来場されたようです。コロナ禍での開催にあたり、事業規模を縮小せざるを得ない状況ではありましたが、「小町公園を人の集まる場所にしたい」という主催者の願い通り、多くの方が来場され、賑わいを見せていました。



撮影の様子(上・下)

tabel table 代表

じゅんこ ハミルトン 純子 さん

京都市出身。平成26年に奥大野へ※孫ターンで移住。古民家を改装した交流施設『tabel table』をオープンし、ケータリングや料理教室を展開。移住前にアイルランドで生活していた経験を活かして現地の家庭料理を広める。信条は「食は命」。

※孫ターン：祖父母が住む田舎へ移住すること

孫ターンで奥大野へ移住しました

◆どんな活動を?

平成28年に古民家を改装した『tabel table(タベル テーブル)』をオープンし、ケータリングや完全予約制のレストラン、料理教室などを開催しています。コロナ禍に応じてテイクアウトも始めました。料理教室は「ハミルトン家の食卓」をコンセプトに、アイルランドの家庭料理をどの家庭でも簡単に作れるように工夫して教室を開いています。他にも、日本食に興味のある外国人観光客などをターゲットにインバウンド観光客向けのガイドとして活動をしています。

◆どうして京丹後へ?

祖母が奥大野に住んでいたもので、子どもの頃は長期休みになるとよく遊びにきていました。その頃からいつかこちらへ移住したいと思っていました。母には「魚は丹後でしか食べない」と宣言するほど、この土地の食べ物に惚れていました。夫がアイルランド出身のため、一時期アイルランドで生活していましたが、子どもも大きくなり、帰国してから流れてに身を任せるように奥大野へ移住しました。こちらへ移住するために、大きなきっかけは不要でした。

◆料理教室を始めたきっかけは?

小学生の頃、母のすすめで「小学生のための料理教室」に通い始めました。料理の基礎はそこで習いました。当時の先生が、海外への渡航経験の豊富なセンスの良い先生で、とてもカッコいい女性でした。当時料理教室に通うことが本当に楽しかったです。中学生になり「大人のための料理教室」に中学生ながら

ら入れてもらってました。高校生になると部活動のため料理教室は通えませんでした。大学卒業後に再び同じ先生の料理教室に通いました。長年料理教室に通っていたこともあり、料理に関する仕事をしたいとぼんやりと思っていました。そんな時、とある自治体で、アイルランドをテーマにしたイベントを開催することになり、そのイベントで出店のオファーを受け、アイルランド料理を提供しました。それが好評で、料理教室を始めました。多くのことが「なりゆき」で進んでいったような気がします。

◆今後の目標は?

tabel tableに隣接しているゲストハウスが今月末に完成予定で、宿泊客に朝食を提供する予定です。今年で還暦を迎えますが、まだまだ働かなければいけないので、私自身が健康でいることが今後の目標です。「食べることは生きること」、私の所に来られる皆さんにはそう伝えていきます。人それぞれ違う「自分の体にとって良いもの」を食べることが大切です。食に関することで悩んでいることや困っていることがあれば、どんな訪ねてきてください。

tabel table

住所:大宮町奥大野510

Web : <http://tabel-table.com>

Facebook : @tabeltable2019



アイルランドスタイルの朝食